

Ganbare Nihongo Learning Japanese

youtube Live 第二回

(Podcast Episode 2)

参加者: のりえ先生、じゅんこ先生、なつみ先生

テーマ: Episode2 私はこのアニメで育ちましたPart2

参加者 : のりえ先生、じゅんこ先生、なつみ先生

テーマ1 : このアニメで育ちました

のりえ先生 : はい。えっと今日は、私、のりえと、なつみ先生、じゅんこ先生が来てくれます。

のりえ先生 : はい。よろしくお願いします。

なつみ先生 : こんにちは。よろしくお願いします。

じゅんこ先生 : よろしくお願いします。

のりえ先生 : はい。じゃ、今日、えっと前回ですね、私たちが、あの「このアニメで育ちました」っていうのをやったと思うんですけど、今日はなつみ先生が来てくれるので、なつみ先生の「このアニメで育ちました」を聞いてみたいと思います。

じゅんこ先生 : はい。

のりえ先生 : はい、なつみ先生、どうですか？どのアニメで育ちましたか？

なつみ先生 : はい、私は皆さんも多分ご存知だ と思うんですけど「らんま1/2」を見て育ちました。

のりえ先生 : ああ。

じゅんこ先生 : そうなんですか？

なつみ先生 : はい。

じゅんこ先生 : うん。私も好きです。今Netflixで新しいのをやってますよね。

なつみ先生 : そうそうそう、そうなんですよ。

じゅんこ先生 : うん、うん。

なつみ先生：新しいのはまだ見てないんですけど。

じゅんこ先生：うん、私も見てないです。

なつみ先生：あ、そうですか？うん、うん。どうなんですかね？海外では人気ですかね？

じゅんこ先生：うん。なんか生徒のうち何人かはらんまを見てるっていう人はいますから。

なつみ先生：あ、そうですか。

じゅんこ先生：うん。

なつみ先生：そう。私が子供のときも うん。もう 毎日学校が終わってから家で毎日らんまを見ていました。

じゅんこ先生：ああ、そうなんだ。

のりえ先生：へえ。

なつみ先生：うん。そうなんですね。

じゅんこ先生：そっか。私は「犬夜叉」の方が好きかな。

なつみ先生：あ、そうですね。「犬夜叉」も好きでした。

じゅんこ先生：うん。そう。うん。

なつみ先生：後は「コナン」とか？その世代ですね。

じゅんこ先生：ああ、そうなんですね。うん。いや、と言うか、あの「らんま1/2」と「うる星やつら」と「犬夜叉」は同じ人が書いてるから。

なつみ先生：あ、そうですね。

じゅんこ先生：うん。

なつみ先生：うん。「うる星やつら」も見てました。

じゅんこ先生：うん、うん。そう。でもちょっとセクシーなんですよ？子供にとって。

なつみ先生：そうそうそう。ああ、そうですね。そうですね。

のりえ先生：うん。そう、らんまもちょっとなんか、あの問題があるとか言ってね。あの うん。男の人が女の子になっちゃうとかっていう、あのそういうコンセプトがあまり良くないっていう話を聞きますね。

なつみ先生：そうなんですか。うん。

じゅんこ先生： うん。

じゅんこ先生： あ、そっか、そっか。なるほどね。そうですね。でもお父さんはパンダになるんだよ。

のりえ先生： そうですね。

なつみ先生： そうですね。

なつみ先生： そう。うん。タイガーは豚になるし。

なつみ先生： そうですね。そう、そう、そう。色々こう変わるんですよね。

じゅんこ先生： そうそうそう。うん、うん。

なつみ先生： うん。

じゅんこ先生： そう。

のりえ先生： あ、YouTubeで見てました、これ。なんかちょっとカクカクしてるような気がするんですけど。大丈夫ですかね？ちょっと

じゅんこ先生： それはおかしい。これで

なつみ先生： うん。

じゅんこ先生： 私YouTube開いてないので。。このまえみたいな事故が起きたらやだから。」

なつみ先生： さっきYouTube開いてたんですけど。

じゅんこ先生： どこにYouTubeがあるかわかんないんだよね。

じゅんこ先生： あ。

なつみ先生： YouTubeはなんか遅れてるんでなんかよく

じゅんこ先生： そう。すごく遅れるんですよ。

なつみ先生： そうですね。一応

なつみ先生： あ、でもちゃんと映ってますね。

なつみ先生： あ、よかった。すごい。動いてます？動いてます？

のりえ先生： ああ、よかったよかった。はい、はい、はい。

のりえ先生： はい。うん。ちょっとカクカクしてるからちゃんと見られてるかなと思ったんですけど。あ、じゃ、大丈夫そうですね。

なつみ先生：大丈夫みたいです。

のりえ先生：あ、よかったです。

のりえ先生：はい。じゃあね、なつみ先生は

のりえ先生：うん。「らんま1/2」ということで。

のりえ先生：ねえ。面白かった。私も好きだったですね。

なつみ先生：うん。らんまとか、タッチとか

のりえ先生：あ タッチ。

なつみ先生：うん、うん、うん。

なつみ先生：うん。タッチもいいですよ。大好きでした。

のりえ先生：うん。南ちゃんが可愛いんですよ。

なつみ先生：そうなんですよ。ちょっと恋愛が入っていると、なんか うん。小学生の私は楽しんで見ていました。

のりえ先生：女子ですね。女の子ですね。そうなんですか？

のりえ先生：うん。あの、そう、私は男の子の漫画が好きだったので あまりその恋愛系のアニメを見てこなかったんですけど。女の子はその、そういう

じゅんこ先生：うん。

のりえ先生：らんまもだし、後その時に流行ってた雑誌が「りぼん」とかですか？女の子向けの。

なつみ先生：あ、はい、はい、はい。そう。

なつみ先生：ね。

のりえ先生：はい。それで、あの、あ、「りぼん」からだったか忘れたけど「ママレード・ボーイ」とかありませんでした？

のりえ先生：覚えてない。違うかな。ありました？

なつみ先生：ありましたね。

なつみ先生：ありました、ありました。

じゅんこ先生：私は知らないね。うん。

なつみ先生： あ。「ママレード・ボーイ」もと、人気でしたけど うん。私は読んだことはないですね、でも、本。うん。りぼんの雑誌。

じゅんこ先生： 名前は聞いたことあるけど、読んだことないですね。

じゅんこ先生： うん。あの当時の少女漫画からの1番やっぱし人気は「NANA」だと思うけど。

なつみ先生： あ、懐かしい。うん。

のりえ先生： 「NANA」、あ、映画にもなりましたね。

のりえ先生： なりましたね。そうですね。映画しか見てないですね。

なつみ先生： うん。

じゅんこ先生： 「NANA」は、あの突然あの人が描くの辞めたんだよね。

なつみ先生： あ、そうですよね。はい、はい、はい。

じゅんこ先生： うん。そう。だからお話の途中でいきなりぶった切られて、で、最後の、最後の巻が すごい辛いんだよね。

なつみ先生： あ、そうなんですか。最後までまだ読んでないです。

じゅんこ先生： うん。そう。最後はどうなるか分かんないけど、でもそのそこで、もう辞めるから、あの結局その最後のシーンっていうのが、あの私、あのSOGOのね、その香港のSOGOに、あの日本の本屋さん入ってて、でそこで「NANA」の最新巻を買ってきて、で、あのトラムの中で読んだんですね。もう家まで我慢できなかったから。で、もうすごい悲しくてトラムの中でぶわあっと泣いたの。

なつみ先生： へえ。可愛い。じゅんこ先生可愛い。

じゅんこ先生： うん。

なつみ先生： え？その頃から音楽をしてたんですか？

じゅんこ先生： そうです。音楽はしてたかな、うん。

なつみ先生： ああ。なんかちょっと重なったりしたんですか？

じゅんこ先生： いや、そういうのじゃないけど、本当に、あのすごく感情移入してたので、その漫画のキャラクターにね。うん、うん、うん。うん。もうええって感じだったのが、あの、うん。で、そこでもうなんかその書いてた人も、もうそん、そこで力尽きてなんか書けなくなっちゃったみたいな感じで終わったんです。うん。

なつみ先生： うん。

なつみ先生： うん。

なつみ先生： なんかあの作者さんってすごく繊細ですよ。

じゅんこ先生： うん。そうだと思う。あの方は、うん、うん。うん。

なつみ先生： そう。私も違う漫画だったら読んだことがあります。天使なんかじゃないとか、結構

じゅんこ先生： それは知らない。

なつみ先生： 有名な

じゅんこ先生： ご近所物語とかね。

なつみ先生： 懐かしい。うん、うん、うん。そう。「ご近所物語」、「ご近所物語」。

じゅんこ先生： ご近所物語。

のりえ先生： ちょっと私その辺りのちょっと分かんないですね。

じゅんこ先生： うん。

なつみ先生： へえ。やっぱりなんかジャンルが違うと ああ。

なつみ先生： うん。分からないですよ。

のりえ先生： そうですね。なんか新鮮ですね。そしてじゅんこ先生全部に精通しているのがすごいですね。確かに、確かに。「りぼん」も

なつみ先生： うん。ジャンプも読んで

じゅんこ先生： 実は私の娘がすごくオタクで うん。色々なものが家にあったので、うん、うん、うん。「NANA」も彼女のえいきょうで読み始めたかな、多分。

なつみ先生： ああ。へえ。

じゅんこ先生： うん。そう。で、やっぱり日本語、日本語勉強されてる人で「NANA」が好きていう人は結構多かったんで、うん、うん。うん。

のりえ先生： ああ、そうなんですか？

じゅんこ先生： 確かに。うん。

のりえ先生： うん。へえ。そう。もうなんかあの少女漫画とか結構うる覚えでテレビでやってたのなんとなく見てたのはいくつかあるんですけど、うる覚えで、あのアニメ何だったかなっていうのはあるですよ。何だったかな？ 本当に何だったかなって感じ。

なつみ先生： うん。

じゅんこ先生： うん、うん。例えば

のりえ先生： なんか学園ものとか、後

のりえ先生： ああ、なんかもう本当にうっすらとしかね、思い浮かんでこないんですよ。言われたら、ああ、ってなるかもしれないですね。

じゅんこ先生： うん。ああ。うん。

のりえ先生： でも「セーラームーン」か

のりえ先生： なんか日本って、そういう、私がその「らんま」を見て うん。 らんまを見ていたのはキッズステーションという、その特別な ああ、

じゅんこ先生： はい、はい、はい、はい。ケーブルテレビみたいなね。

なつみ先生： あ、なんか普通のそうそうそう、放送じゃなくてそういうので見てたんですけど、日本ってそう、アニメってどの時間に入ってたっけ？ そもそも。

じゅんこ先生： えっと

じゅんこ先生： えっとね、昔は学校が終わる時間だよ。4時とか。

じゅんこ先生： 4時くらい？

じゅんこ先生： うん、うん。5時とかね。後は7時とかね。でも今は皆子供は塾行っちゃうじゃないですか。はい、はい。だからその7時の枠とかがもう今アニメのためにはないよね。

なつみ先生： ああ、そうなんですね。

じゅんこ先生： うん。だから日曜日の朝早くとか。

じゅんこ先生： ああ、そう。朝なんですね。そう、9時ぐらいかな、うん。

なつみ先生： うん、うん、うん。それは私が子供のときもそうでしたね。うん。

じゅんこ先生： 日曜日の朝。今も「ONE PIECE」とかね？

のりえ先生： ああ、はい、はい、はい、はい。まだその時間でやってるんですね。

じゅんこ先生： うん。うん。やってます、やってます。朝の9時半からワンピース。

なつみ先生： うん。なんかアニメよりむしろ天才てれびくんとか

じゅんこ先生： え？

なつみ先生： 天才てれびくんって

じゅんこ先生： ああ、はい、はい、はい知ってる 知ってる。ありましたね。

なつみ先生： そうそうそう。うん、うん。

じゅんこ先生： うん。

なつみ先生： アニメよりそっちの方が見ていたかもしれないです。

のりえ先生： うん、うん、うん、うん。そうですね。朝はでも「プリキュア」とかね、今ね。あの昔からそうですけど「プリキュア」と後戦隊ものと、あの「ウルトラマン」が朝の7時半ぐらいから連続でやって、その後にアニメっていう流れだったような気がしますね。

なつみ先生： うん。なるほど、なるほど。確かに。「かいけつゾロリ」とかも入ってましたよね？

じゅんこ先生： ああ、その時代は分かんないなあ。

なつみ先生： ああ、そうなんだ。そっか、そっか。とか「明日のナージャ」とか。

じゅんこ先生： ああ、知らない、知らない。

なつみ先生： 知らない。「明日のナージャ」私大好きだったんですよ。

のりえ先生： へえ、それは知らないですね、私も。

なつみ先生： 「おジャ魔女どれみ」とかも大好きでした。

じゅんこ先生： ああ。へえ。私にとってこれは、うちの娘はセーラームーン世代ですよ。

なつみ先生： ううん。今、セーラームーンも映画ありますよね。

じゅんこ先生： うん、そうなんだ。

なつみ先生： Netflixで映画あります。うん、うん。

じゅんこ先生： セーラームーンとか「カードキャプターさくら」とか。

なつみ先生： あ、懐かしい、懐かしい。ありましたね。

のりえ先生： そうそう。さくらのほうは女の子向けなんですよ？私、そのストーリーは分からないんですけどね。あの「遊☆戯☆王」とかは結構流行ってましたけどね。「ジャンプ」のアニメですよ。

なつみ先生： うん、うん、うん。

じゅんこ先生： うん。

じゅんこ先生： うん。そうですね。私は遊戯王見たことないけど、「幽☆遊☆白書」は結構見てた。

のりえ先生： ううん。白書はそうですね。見てましたね。うん。

のりえ先生： うん。見たことないですね。へえ。幽遊白書と、後ね「犬夜叉」とかね。なんか

なつみ先生： うん、うん。

なつみ先生： そっか、そっか。なんか時代と後やっぱり兄弟に男がいるかいけないかでもやっぱり全然違いますよね。

のりえ先生： それはあるよね。そうですね。

なつみ先生： え、じゅんこさんも 兄弟は？

じゅんこ先生： 私は弟がいるよ。

なつみ先生： ああ、男の子がいるんですね。

じゅんこ先生： うん。

なつみ先生： うん。だからかな。

じゅんこ先生： うん。でも私たちの時代はそんなに色々なものがなかったからね。

なつみ先生： あ、そっか。アニメはそうですね。

じゅんこ先生： うん。そう。例えば「天才バカボン」とかね。

なつみ先生： でも私の時代も見てました。「みつばちハッチ」とかも見ました、見てました。再放送でね。見てました？

じゅんこ先生： みつばちハッチ見てたの？

なつみ先生： 再放送で見てました。

じゅんこ先生： へえ、そうなんだ。

なつみ先生： え、しかも今新しくなってまた

じゅんこ先生： あ、そうなの？

なつみ先生： はい。

のりえ先生： え、まだあるんですか？

なつみ先生： やってるみたいです。

じゅんこ先生：へえ。

なつみ先生：そうそうそうそう。みつばちハッチ。

じゅんこ先生：バカみたいな話だよ、あれね。

なつみ先生：ちょっと話覚えてないです。

じゅんこ先生：だってそんななんかみつばちの女王様が、あの女王様1匹しかいないよね？

なつみ先生：そうです。ま、多分そうですよね。蜂の世界ですから。うん、うん。

じゅんこ先生：うん。そう、そう。その蜂の世界なんて、なんかその彼が王子っていうのはおかしいから。

なつみ先生：そっか、そっか。あ、王子の設定でしたっけ？全然内容覚えてないです。

じゅんこ先生：そうそう、王子の設定だったよ。だって他に兄弟とかいるはずなんだけどいっぱいね。

なつみ先生：内容が全然覚えてないけど、へえ、よく見てたっていうのは。

じゅんこ先生：うん。そうね。

のりえ先生：でもなんか「鉄腕アトム」も再放送で

じゅんこ先生：今から思えばおかしい。 <noise>

じゅんこ先生：うん。

のりえ先生：ね、あ聞こえますか？音声がなんかちょっとずれてる。

じゅんこ先生：アトムは多分新しいのがあったんじゃないですか？あの鉄腕アトムの、あの

なつみ先生：あ、ちょっとずれてますね。

じゅんこ先生：あ、そう。ね。うん。

なつみ先生：カメラと、

じゅんこ先生：うん。鉄腕アトムの新しい話で今Netflixにあるんだけど、なんていうタイトルだっけ。すごくいいんですよ。

なつみ先生：へえ。

じゅんこ先生：うん。それちょっとチェックしてみてください。鉄腕アトムが出てくるNetflixの新しいアニメ。手塚治虫が書いてなくて、違う人が書いてると思う。

なつみ先生： うん。

じゅんこ先生： はい。

なつみ先生： ええ。

じゅんこ先生： うん。それお勧めです。

なつみ先生： へえ。それアニメなんですね？

じゅんこ先生： アニメです。でもすごくよくできてる。

なつみ先生： へえ、そうなんだ。

22:28 **じゅんこ先生**： うん。

22:30 **なつみ先生**： うん。へえ。

22:34 **じゅんこ先生**： なんていうタイトルか忘れちゃった。うん。

なつみ先生： 手塚治虫と言えば「ブラック・ジャック」も手塚治虫ですよ。

22:41 **じゅんこ先生**： うん。そうです、そうです。

22:42 **じゅんこ先生**： うん。

なつみ先生： ですよ？それは見てましたね。

じゅんこ先生： うん。

のりえ先生： そうですね。手塚治虫だと「火の鳥」をよく見てましたね。

じゅんこ先生： ああ、そう

じゅんこ先生： そうなんだ。火の鳥か。

なつみ先生： 見たことないですね。すごい。全部違いますね。全部違ってた。

じゅんこ先生： 知らないなあ。手塚治虫と言えば、あの、あれだよ。あの りぼんの騎士。

のりえ先生： ああ。

なつみ先生： え？知らない。りぼん？

じゅんこ先生&のりえ先生： ： はい。りぼんの騎士。

じゅんこ先生： うん。

なつみ先生： え、初めて聞きました、今。

じゅんこ先生： あ、そう。 古い、古いアニメだからね。

のりえ先生： ううん。 漫画で読んだような気がしますね。

じゅんこ先生： うん。

のりえ先生： ううん。 手塚治虫、

なつみ先生： すごいですね。 こんなに。

のりえ先生： ね。 そうですね。 なんか、あの、ちょっと怖いんですよ、話が。

のりえ先生： 子供心に すごいなんか人生を考えさせられるというか。 あの火の鳥もそうだし、私ブッタの漫画を持ってて、もう何回も読んでるんですけど、もう本当に人生とは何かみたいな。 人が生きるとは何かっていう、そんな話なんですよ。

なつみ先生： へえ。

のりえ先生： そう、ブッタはね、もう本当何度も何度も読みました。 仏教の話なんですけどね。

なつみ先生： ああ。

のりえ先生： うん。 あの

のりえ先生： なるほど。

のりえ先生： ブッタが、あの仏様なので。

のりえ先生： でもちょっと怖い。

なつみ先生： 主人公がブッタなん・・・？

のりえ先生： えっと、いや主人公が誰かというのはちょっとはつきりとはしないんですけど。 でも、そのブッタを中心とした話。

なつみ先生： うん、うん、うん。

なつみ先生： へえ、面白そう。

じゅんこ先生： はい。 すごい。 で、その作品の名前は、ブッタなんだね？

のりえ先生： あ、そうです、そうです。 ブッタなんです。

なつみ先生： うん。 あ、漫画なんですか？

のりえ先生：そう、アニメじゃない。ないかもしれないですね。（テーマが）アニメの話なんですけど。漫画になっちゃって。

なつみ先生：ああ。

じゅんこ先生：うん、うん、うん。

じゅんこ先生：ジャングル大帝もそうだしね。

なつみ先生：ああ、ジャングル大帝、レオも聞いたことがあります。

じゅんこ先生：後、あの「メルモちゃん」とか。

のりえ先生：あ、そうですね。メルモちゃんはちょっと今は見れないかもしれないですけど。

じゅんこ先生：うん。

なつみ先生：いや、でもすごい。こんなに1人の作者で出てくるって本当すごい。天才。

じゅんこ先生：うん。そうですね。手塚治虫。うん。手塚治虫さん。マグマ大使もそうだよね？

なつみ先生：え？誰ですか？マグマ大使？

じゅんこ先生：マグマ、マグマ大使。

なつみ先生：ええ、初めて聞きました、それも。

じゅんこ先生：マグマ大使知らないの？

なつみ先生：知らないです。

じゅんこ先生：マグマ大使は実写ですね。あのやってた、あの お父さんがロボットで、お母さんは人間なの。お母さんの体は人間なんだけど、お父さんと息子が、あのロケットに変身するんですよ。（実はお母さんもロケットになるんだった。ということをおあとで思い出しました）

なつみ先生：へえ、面白い設定。

じゅんこ先生：うん。で、それでそのロケットに、あの 江木俊夫（えぎ としお）って知ってる？

なつみ先生：俳優さん？

じゅんこ先生：江木俊夫（えぎ としお）って、あのフォーリーブスの1人なんだけど、彼が子供の時に、そのドラマに出てて、ドラマっていうか、ま、漫画なんだけどドラマ化されて。で、彼が笛を吹くとピルルンって笛を吹くと、1回だけ吹くと息子の方が飛んでくるんですね。

なつみ先生：ふうん。

じゅんこ先生：うん。で、3回吹くとお父さんが来るみたいなの。

なつみ先生：ふうん。うん。なんかちょっとアトムみたい。

じゅんこ先生：うん。で、悪ものがゴアっていう悪ものがなんかUFOに乗って来るんだけど、その人と戦う話。

なつみ先生：へえ。

じゅんこ先生：うん。

なつみ先生：え、名前が何でしたっけ？

じゅんこ先生：マグマ大使。

なつみ先生：マグマ大使。ええ、初めて。これも手塚さん？

じゅんこ先生：うん。そう。

のりえ先生：へえ。すごい、でもそのストーリー覚えてるのがすごいですよね。

なつみ先生：確かに。

じゅんこ先生：うん。子供の頃何回も見ただけ。あの再放送で。

のりえ先生：いやあ、すごいなあ。時代がうん。だいぶ、かなり違いますよね？その手塚治虫さんの話っていうのはもうかなり古い部類なんですけど。でも、なんかまだ見ても、今見ても面白いんですよね。

じゅんこ先生：うん。

のりえ先生：うん。今はやってないですけどもテレビで。なんかやってほしいですよね。

なつみ先生：あ、それこそ私、今韓国に住んでいるんですけど、韓国でその～ 銀河鉄道の夜を今やって、今はもう終わったかもしれないんですけど普通のテレビの放送でやってるんですよ。へえ。私でも見たことない、銀河鉄道の夜。ま、聞いたことはありますし、絵も見たことがあるんですけど、あんまりアニメでは見たことなかったんですけど、韓国に来てちょっと見るみたいな変な体験をしました。なのでなんか昔のアニメが <noise> なんかこっちで放送されていて なんか新鮮ですよ、そういうの。

じゅんこ先生：銀河鉄道39（スリーナイン）だって私、子供だったと思うよ。

なつみ先生：いや、そうです。もう本当に懐かしいアニメが こっちでやってて。評価されていていいですよ、そういうのって。新しいアニメだけじゃなくて。

じゅんこ先生：うん。

のりえ先生：いいですね。

じゅんこ先生：新しいアニメはありすぎるからね。

のりえ先生：逆に日本でもそういうのやってくれないと今の子供たち昔のアニメ結構知らないんですよね。

じゅんこ先生：うん。

なつみ先生：そうですねえ。

のりえ先生：ジブリとかも知らない子がいるんですよ。

じゅんこ先生：うん。

なつみ先生：あ、ジブリでも？

のりえ先生：そうなんですよ。Netflixとか、あの後何、なんだろう。他のその配信サイトでやってないので、見る機会がないんですよね。

のりえ先生：今子供たちテレビ見ないので

なつみ先生：うん。

じゅんこ先生：そうだよな。

じゅんこ先生：あ、そうだよな、確かに。そっか。

じゅんこ先生：うん。

のりえ先生：テレビではやってるんですけどね。私もテレビ見ないので。本当にNetflixとかで配信してくれないと見る機会がないんですよ。

なつみ先生：確かに。どんどんどんどんね、だって古いアニメって絵はちょっと古いかもしれないですけど内容はね すごく

じゅんこ先生：うん。

なつみ先生：新しいも古いもないですからね。ちょっとね。今そのらんまとかもそうですけどちょっとなんかね、難しい内容もあるかもしれないですけど。学校でね、先生が子供を叩くとか多分

じゅんこ先生：あ、そうね、そうね。

なつみ先生：国によっては「クレヨンしんちゃん」がね あまり良くないとか、子供のね 裸を出しちゃはいけないとかもありますよね。

じゅんこ先生：はい、はい、はい、はい。そうですね。

のりえ先生：ドラえもんでもそうですね。

じゅんこ先生：そう。 <noise>

なつみ先生：あ、そうなんですか。

のりえ先生：あの新しく

じゅんこ先生：しずかちゃんの入浴シーンとか？ <noise>

なつみ先生：ああ。 <noise>

のりえ先生：そうそうそう。

なつみ先生：そう、そっか、そっか。 <noise>

のりえ先生：それね。そう、あのスカートめくりとかもね

なつみ先生：ああ、そっか、そっか。

のりえ先生：はい。後体罰的なものもありますよね。あのバケツに、あの水の入ったバケツを持たされて廊下に立たされるっていう。

じゅんこ先生：そうそうそう。うん、うん、うん。

なつみ先生：ああ。確かに、確かに。そうですね。確かにそういうのはちょっとやっぱりちょっと時代とともにね。

じゅんこ先生：うん。まあね、ま、それも行き過ぎたりベラルミたいなは私あまり好きじゃないから。例えば「ロアルド・ダール」 ロアルド・ダール知ってる？

なつみ先生：ロアルド・ダール？

じゅんこ先生：うん。ロアルド・ダールは、あの、ちゃ、なんだっけ。チャーリー アンド チョコレートファクトリーとか。

なつみ先生：ああ、はい、はい、はい。

じゅんこ先生：うん。マチルダとか書いた人なんだけど、彼の作品にはそういうちょっと、あの皮肉っぽい表現がたくさん出てくるんですね。で、それをなんかもうこれは時代にそぐわないからね。その言葉をなんかバンした方がいいみたいな流れがあって、私はま、それを聞いて読んだ時にすごくショックを受けた。ま、言葉狩りっていうんですか？

なつみ先生：うん、うん。

じゅんこ先生：それはなんかいくらその今その色々なことがなんていうのかな？規制されてるっていうか、今まで使って良かった言葉が今使えないとかたくさんあるじゃないですか。それはやっぱりなんていうのかな？言葉の歴史を消してしまう。そしてなんかその背景っていう

のも分かったのことだから、なんか人間としてなんかいいことばっかりないじゃないですか、人生には。だからその悪いことをわざわざ隠す必要が、何であるのかなっていう、それはいつも考える。

なつみ先生： うん。そうですね。なんか消 そうですね。うん。消しちゃうのもあれですね。見えなくしてしまうよりは見て考えるみたいな。

じゅんこ先生： そうそうそう。うん。そうそうそう。そっちの方が大切だと思うんだけど、消しちゃう人もいるから、それについては私は賛成はできないなって。

なつみ先生： そうですね。アニメの話からなんか色々広がりますね。

のりえ先生： そうですね。ちょっと社会問題の話などにもなってきましたよね。でも、なんか私たちって結構アニメからたくさんしたこと学んできたので、やっぱりその昔のアニメというのはずっと残してほしいですし、あの同じように今の子どもたちも学んで行ってほしいなとは思いますが。

なつみ先生： うん。

じゅんこ先生： うん。そうですね。

なつみ先生： そうですね。確かに。

のりえ先生： はい、じゃあちょっとこの辺りでアニメの話は終わりますか？

じゅんこ先生： はい。

～私はこのアニメで育ちましたPart2～

一同： はい。

のりえ先生： はい。じゃ、今日あのもう1つクリスマスの話しようかなと思ったんですけど。はい、どう、どうですか？お時間大丈夫ですか？

じゅんこ先生： うん。

のりえ先生： はい。

なつみ先生： あ、私は大丈夫です。

じゅんこ先生： 大丈夫です。

のりえ先生： はい。じゃあ、なんかあのね、皆さん実は、ちょっと遅れてますか？大丈夫ですかね？ああ、ちょっと、ちょっと

じゅんこ先生： あ、お。遅れて

なつみ先生： 今大丈夫。今大丈夫です。大丈夫ですか？

のりえ先生： はい。じゃあね、あの実はなつみ先生は韓国に住んでるんですよね？今韓国ですね。 <noise> あれ？遅れてますか？

なつみ先生： あ、そうなんです。すみ はい。韓国に来て3年になります。

じゅんこ先生： おお、そうなんだ。

なつみ先生： はい。

なつみ先生： ヘえ。まだ3年、もう3年。

なつみ先生： はい。

のりえ先生： ああ、すごい。韓国のクリスマスってどんな感じですか？

なつみ先生： うん。 ええ、多分あんまり日本とは変わらないと思うんですけど。そんなに、何？欧米みたいにヨーロッパとかアメリカとかみたいに家族で集まるっていうようなクリスマスではなくて、なんか友達とか恋人とかイルミネーションを見たり、ま、デートしたり、ま、そういう日だと思います。で、結構最近ではなんか あの私はソウルの住んでいないので直接見たわけじゃないんですけど、なんか大きいロッテデパートの あの外観にイルミネーションがすごく プロジェクションマッピング？ ああ、がとても綺麗に、なんか映し出せる うん。映し出されているらしいです。

なつみ先生： はい。後私の家の近くにもクリスマスマーケットみたいなのもちょっと

じゅんこ先生： いいね。

なつみ先生： あります。

のりえ先生： ヘえ、いいですねえ。

なつみ先生： そう。ヘえ。でも多分私ヨーロッパのクリスマスマーケット行ったことあるんですけど、多分ヨーロッパであるような多分ホットワインとか多分そういうのはないと思います。

じゅんこ先生： モルドワインね。

なつみ先生： そうそうそうそう。モルドワインとかは多分ないと思いますね。ただ、うん。あるところもあるかもしれないですけど。香港はどうですか？

じゅんこ先生： 香港はイルミネーションがきれいです。

なつみ先生： ああ、そうなんです。なんか綺麗そう。

じゅんこ先生： うん。で

なつみ先生： うん。

じゅんこ先生： うん。ペニンシュラのシャネルの飾とか、ま、あのクリスマスツリーとか後クリスマスのデコレーションは色々なモールでそれぞれあって、それはすごい綺麗ですよ。

なつみ先生： うん、うん。

じゅんこ先生： うん。

なつみ先生： あ、そうなんだ。

なつみ先生： うん。クリスマスマーケットもありますか？

じゅんこ先生： クリスマスマーケットはないですけど。うん、なんかアメリカンクラブとか特別なエリアではいつも毎年やってる。後ホテルとかね、うん。

なつみ先生： うん、うん、うん。うん。え、香港人ってクリスマスどう過ごすんですか？

じゅんこ先生： いや、同じですよ。あの みんな家族でご飯食べたりとか。

なつみ先生： あ、そうなんだ。じゃ、クリスチャンが多いんですか？

じゅんこ先生： うん。いや、クリスチャン関係なく。うん。そうそう。休みなんですか？祝日なんですか？国？明日は休みじゃないけど25日はクリスマスで休みで

なつみ先生： ああ。

じゅんこ先生： 26日はボクシング・デーです。

なつみ先生： あ、そうなんですね。韓国は特に祝日ではないんですよ。だから普通に仕事皆あります。

じゅんこ先生： うん。そうそう。うん。うん。だから明日は友達とイブのランチをします。

なつみ先生： ああ、いいですね。

じゅんこ先生： うん。いいですね。

なつみ先生： やっぱりチキンを食べますか？

じゅんこ先生： いや、知らない。私は食べないけど。

なつみ先生： <noise> 確かにね。のりえ先生のところ子供が多いから。 <noise>

なつみ先生： そうですね。うん。そう。そうなんですね。苺の数で喧嘩になっちゃう。
<noise> そうそうそう。そうなんですよ。

なつみ先生： そっか。

なつみ先生： うん、うん。じゃ、忙しいですね。

のりえ先生： そうですね。もう本当に私の気分次第なんですけどね。やっぱりやめとこうかなっていうときもあります。でもなんか決まってた方が楽というかね、これを作るって決めてた方が私としては気持ちが楽です。

なつみ先生： うん、うん。え、じゅんこ先生はデコレーションはしないんですか？家？

じゅんこ先生： しません。全然しません。そんな面倒くさいことはしません。 <noise>

なつみ先生： あ、そうなんですね。なんかよく韓国の家、私はあのクリスマスツリーが家にないんですけど、韓国の家ではよくクリスマスツリーを出したら、もう年明けまで、2月とか3月までクリスマスのしまわない。ま、家もそうですね、うちも。

じゅんこ先生： うん。多分場所もないんだよね。直しておく場所がないから。

なつみ先生： うん、うん、うん。

じゅんこ先生： うん。そうそう。ま、街に出ればたくさんクリスマスは楽しめるから。家ではなにもしません。

なつみ先生： そうですよ。

のりえ先生： うん。そうですかね。なんかや、面倒くさいけどやらなきゃっていう、やると子供が喜ぶし。やらなきゃと思うんですけどやっぱり片付けるのが面倒くさいので、私も年越しちゃいますね。

なつみ先生： そうですよ。しかもクリスマスといい、年末といい、ニューイヤーといい、本当にその辺1番忙しいですからね。

のりえ先生： そうですよ。韓国とか香港は分かりませんが、日本はお正月のほうが大事なのでお正月にむけて皆準備するじゃないですか。その間にはクリスマスが入ってきてるので、もうなんかわけわかんないですよ。

なつみ先生： そうですよ。

なつみ先生： うん。しめ縄と、何？鏡餅とクリスマスツリーみたいな。 <noise>

のりえ先生： 鶏肉は買わなきゃ、ね、あのお餅は買わなきゃ、しめ縄は買わなきゃ。

じゅんこ先生： そうですね。 <noise>

なつみ先生： リースと取ってしめ縄みたいな。大変忙しい。私も子供の頃はそうでした。

なつみ先生： うん、うん。

じゅんこ先生： うん。え、でも香港もあれです。ルナニューイヤーですよね？

じゅんこ先生： そう、ルナニューイヤーです。今年は1月28日からかな。

なつみ先生： うん。韓国もそうなんです。

なつみ先生： うん、うん。28日から。そうそう。

のりえ先生： じゃあニューイヤーは1月1日は何かするんですか？

じゅんこ先生： 1月1日お休みで、ま、それだけで特に何もありません。

なつみ先生： うん、うん。こっちもそうですね。

じゅんこ先生： そうなんです。うん、うん、うん。

なつみ先生： はい。もう日本というか、鐘を鳴らすという文化は

じゅんこ先生： うん。鐘を鳴らすの？

なつみ先生： 韓国ではお寺に行って鐘を鳴らすという文化はあるんですけど、特別あの正月自体はルナイヤーをお祝いするので

じゅんこ先生： ああ、そっか。うん、うん。うん。そっか。うん。

なつみ先生： そうなんです。

じゅんこ先生： こっちは特に何も無いと思う。でも場所によってはカウントダウンしてるところもあるから。

なつみ先生： うん。でも一応お休みになるのいいですね。 <noise>

じゅんこ先生： うん。お休みですよ。 <noise>

なつみ先生： クリスマスもお休みになるし。

じゅんこ先生： うん。そう、そう、そう、そう。クリスマスの そう、イブは、あのニューイヤーイブもクリスマスイブも夜通し電車が走ってる。

なつみ先生： へえ。

じゅんこ先生： うん。だから、うん。そうそう、遅くなっても家には帰れるという。

なつみ先生： うん、うん、うん。へえ。そうなんだ。楽しそう。

じゅんこ先生： そうそう。うん。うん。

のりえ先生： ね、日本もねクリスマスは普通の日ですけども、前の天皇陛下が誕生日が23日だったじゃないですか。

じゅんこ先生： ああ、そうですね。

のりえ先生： そうそうそう。でもなんかそれがすごい良かったんですよね。そのクリスマスをお祝いする家庭にとっては。あそこで

じゅんこ先生： え、もうないの？

のりえ先生： 今は、今は変わりましたよね？2月何日でしたっけ？

じゅんこ先生： はい。23日です。

のりえ先生： 23日。

のりえ先生： 23日。すみません、天皇。 <noise>

じゅんこ先生： 私の、私の誕生日の、うん。私の誕生日の1日前なんですよ。

のりえ先生： あ、そうなんですか。

じゅんこ先生： ああ。

のりえ先生： うん。そうなんですね。

じゅんこ先生： そう。だから、あのすごく分かりやすい。 <noise>

なつみ先生： ううん。あ、今の天皇の誕生日が 2月23日。

じゅんこ先生： そうそう、2月23日。

なつみ先生： うん。覚えやすい。

のりえ先生： うん。そうですね。

のりえ先生： うん。2月28日しかないのに祝日が増えちゃったっていう。

じゅんこ先生： うん、うん、うん。

なつみ先生： <noise> 確かに、確かに。

のりえ先生： 2月 祝日が多いんですよ。働く日が少ない。

じゅんこ先生： あ、そうなの？2月10日？

なつみ先生： 10日になんかありましたっけ？

のりえ先生： もう1個あったような気がするんですけど、

じゅんこ先生： 10日だけでしょう？

のりえ先生： あ、10日か。10日でしたっけ？

なつみ先生： 節分？

のりえ先生： 建国記念日

じゅんこ先生： うん。10日、10日建国記念日でしょう？

なつみ先生： ああ、10日か。

じゅんこ先生： うん。紀元節ですね。（**思いつき10日と言っているが、本当は11日です。すみません。**）

のりえ先生： うん。駄目ですね。こんな答えられないと。 <noise>

なつみ先生： 祝日はちょっと私もう5月とかの祝日もほとんど、もう9月も祝日多いですけど、ほとんど言えない。 <noise> みどりの日。 <noise>

じゅんこ先生： だからみどりの日になったじゃないですか。2月29日がね。元々昭和天皇の誕生日が2月、いや4月29日だったのがみどりの日になったんだよね。

なつみ先生： はい。そうですね。

じゅんこ先生： はい、はい、はい。うん。じゃ、今のその前の天皇の誕生日は12月23日が他の日になってないの？

なつみ先生： 確かに。何の日なんだろう？そうですね。そういえば

じゅんこ先生： なってないんだ。ああ、そう。

のりえ先生： 休みじゃないですね。休みじゃないことは確かなんですけど。

じゅんこ先生： ああ、そうなんだ。じゃあ、そうやって増やしていったらどんどん増えていくから。

なつみ先生： そうですね。私もいつもそれ気になってました。うん。

のりえ先生： うん。そうですね。まだご存命なので うん、どうでしょうか。そうですね。うん。

のりえ先生： うん。そうですか。じゃ、そういやクリスマスってあの 結構外国の方から言われるのが、日本ってケンタッキーを食べるんでしょうって言われるんですよ。

じゅんこ先生： ああ。

じゅんこ先生： そうそうそう。それ有名な話でね、

のりえ先生： 本当に食べるんですか？

じゅんこ先生： うん。私もよく聞かれるよ

のりえ先生： 私食べないんですけど みんな食べるんですかね。

じゅんこ先生： いや。昔食べたよね。

じゅんこ先生： 昔日本にいる時食べたよ。

なつみ先生： うん。注文は増えると思いますよ。

じゅんこ先生： うん。なんかクリスマスセットみたいなのがあったと思うんだよね。

のりえ先生： あります、あります。クリスマスセットありますよね。

じゅんこ先生： そう。そうそう。だから昔日本にいるときは食べてたと思う。

なつみ先生： コマーシャルも増えますしね。ケンタッキーの。

じゅんこ先生： そうですよ。 <noise>

のりえ先生： そうですね。あの音楽がいつも流れますね。

じゅんこ先生： 日本は、あのケンタッキー美味しいから、うん、うん。

のりえ先生： うん。他の国は味が違う？

じゅんこ先生： 違う。私はあのここでしか食べたことないけどあまり美味しくないので行かない。

のりえ先生： これぐらいにしておきましょうか。ちょっとね、そう、映像が、あの音声がね、ちょっと遅れてきましたね。聞こえますか？

じゅんこ先生： あ、今聞こえた。さっきなんか聞こえなかった。

のりえ先生： なんかね、ちょっと不安定になってきてるような感じがしますね。

じゅんこ先生： うん、うん。じゃ、そろそろ終わりましょうか。

のりえ先生： ねえ、そろそろそうですね。終わりましょうか。なんかすごい色々な話にね、社会問題まで話しましたね。 <noise>

なつみ先生：確かに。

じゅんこ先生：はい。

のりえ先生：はい、じゃあ、えっとじゃあまた あの次回ということで。今度はスナックじゅん
こと言うことで。

なつみ先生：はい。

のりえ先生：よろしくお願いします。お願いします。そうそう。

じゅんこ先生： 26日、はい、分かりました。はい。じゃあ、またね。

なつみ先生：はい。じゃあ、また。